

医師と看護師派遣

メキシコ地震でAMDA

マグニチュード(M)8・1の地震に見舞われたメキシコの被災地支援のため、国際医療ボランティアAMDAは11日、医師と看護師を派遣した。現地の状況を確認するため、主に情報収集に当たり、18日に帰国する予定。

徳島大大学院助教で

医師の鈴記好博さん

(52) 〓徳島市 〓とAM

DA本部職員・調整員

で看護師の山崎希さん

(44) 〓岡山市。成田空

岡山駅を出発する鈴記さんと山崎さん



港から出国し、現地時間11日午後(日本時間12日朝)にメキシコ市へ到着予定。現地の事

情に詳しい日本人コーディネーターと合流し震源地に近い南部オアハカ州入りを目指すという。

出発を前に、JR岡山駅で鈴記さんは「8日(日本時間)の地震

発生から数日がたち、感染症予防などが大事になる。できることが何かを把握してきたい」と話した。AMDAによると、

第1陣の活動状況によって、後続の派遣を検討する。(伊丹友香)